

冯其庸 著

解 夢 集

上

青島出版社



014037924

I207.411-53

12

V1

冯其庸 著

解

梦

集

金



青岛出版社

(上)

I207.411-53

12

V1



北航

C1726026

公石歌記之。後嘉道間鈔本。遂光中
流入俄京。迄今已百五十年。不為世
所知。去年冬。周汝昌君。方甫。李佩三
同志。親往目驗。認為頗有價值。以
其全書影印。由我駐蘇大使館。托
張致祥。回京。携回。吾而賦此。是為急
謀。付之影印。以餉世之嗜紅學者。一
九八五年三月二十日。

李一氓

染墨淋漓何足道。紅樓夢覺道未
人。瓦礫錢辭倍如玉。鼓担新鈔叫
城。伊曹一時傾城水。冰封万里識家
門。老大死忘評語視。先告西山黃葉
村。

1. 俄藏本《石头记》回归，李一氓先生题诗为赠

一梦红楼不记年！
须彌芥子力无边
飯瓜換日足思健
身瘡无怨即神仙
其庸望乞吟正

刘海粟

2. 刘海粟先生题诗

臨江仙

一九六三雪芹逝世二百周年作

惆悵西堂人遠仙家白玉樓成

可憐殘墨意縱橫笛紗銷粉淚

綠樹向啼鸞見本書第七十九、五十八回俱園

合後文俠稿情節多少金迷紙醉

真堪石破天驚休言誰創與誰承

傳心先後覺說夢古今情

一九七九年六月

俞平伯



3. 俞平伯先生書贈《臨江仙》詞

題新刊何其芳詩稿 次章

記河南息縣往事

謂清華大學

喜識

昔曾共學在郊園

一九五二年初立文學研究所君任副所長

晚歲

文研創業緣

研究詩話推鼓陳跡怕重論

耽吟憐錦瑟

豫南居解以耕芸

習勞終歲

相呼來入笠孟子既入其笠

勝讀書猶記相呼來入笠

雲低雪野助驅猪

其庸先生兩正

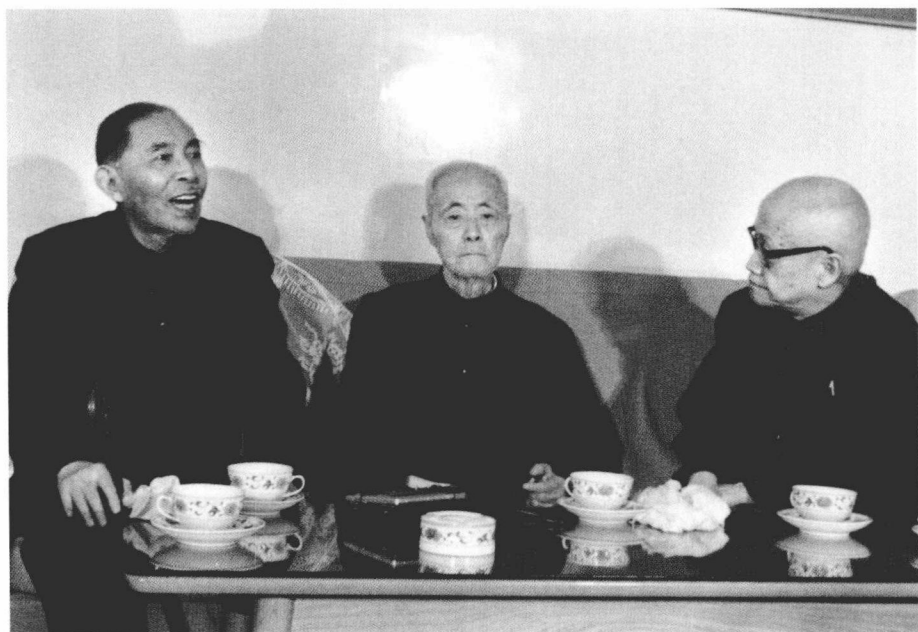
己未六月俞平伯



4. 俞平伯先生書贈詩幅



5. 俞平伯、叶圣陶、王湜华先生



6. 茅盾、顾颉刚、俞平伯先生



7.作者与刘梦溪、周雷、苏一平、茅盾、王昆仑先生



8.吴世昌、吴恩裕先生



9. 吴恩裕、林默涵先生



10. 吴组缃、郭预衡、周汝昌、启功先生



11. 作者与卓琳、林冠夫、张庆善、傅冬冬、杜景华、吕启祥



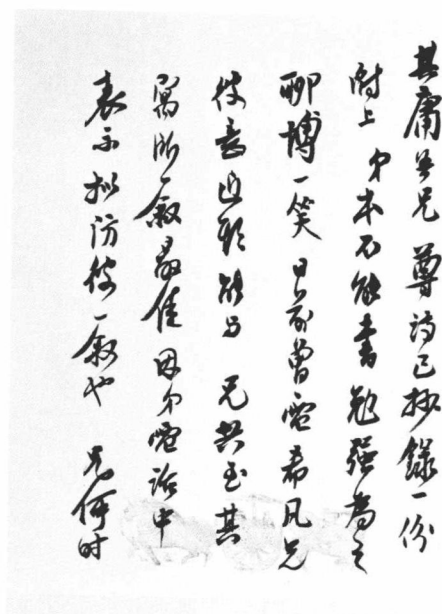
12. 作者与卓琳同志



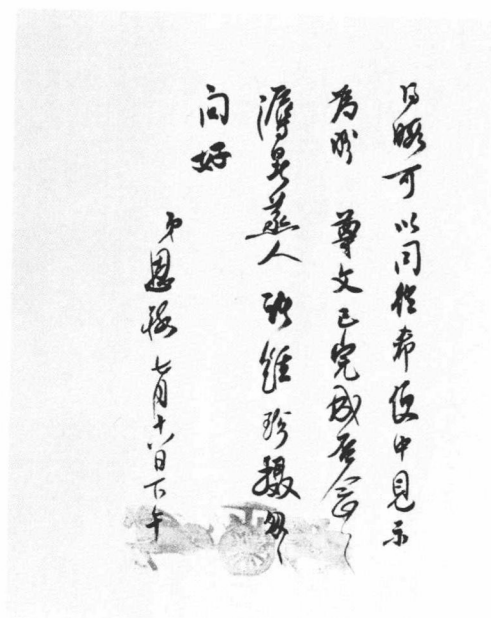
13. 作者与吴世昌先生、王利器先生、张毕来先生



14. 《红楼梦学刊》创刊号



15. 吳恩裕先生來信



16. 吳恩裕先生來信續



17. 作者与余英时先生



18. 作者与伊藤漱平、钟敬文、松枝茂夫、陈毓罍

馬其庸先生：

送りは悪い掛けもなく、高著『論庚辰本』及び
『大金喇嘛药师宝记碑题名考』をお送り頂き
ました。深く御禮申上げます。

先生のりる名前は前には『文物』誌上で、また最近では『社会科学战线』誌上で存知ておりました。『論庚辰本』は申すまでもなく、鍾教授に一本の贈りを受け、その考證の精確さに深く敬服している次第です。次から次に新しい発見、新しい見解を示されること、真に驚嘆の外はありません。
私などは『红楼梦』の翻訳を志して以来、已に五十年近くになりますが、（小生現在七十四歳）未だ何等の心

希望することは、紅樓夢の評語を注釈として、
 しいといふことです。言外に、固より、風俗
 習慣、社会制度等々、時の世に依り、地の南
 北に依り、或は族の藩漢に依り、紅樓夢の作者
 が南方に生みて、北京に住んだ漢軍に依り、紅樓
 夢には極めて錯雑したものがあると思ひます。
 勿論、中国人自身にとつては、日常茶飯事、自明の
 ことなので、何の疑いもなく百二十四回を遡んで読過
 できるでしょうが、私達、外国人には其の様に是れ
 ません。どうも、その方面の事業に努力して下さる
 方があればと望んでいます。これは私の心まで五
 年月にわたつて、鼓つて来ることでした。

得も無く、徒らに紅樓夢の表面を摩挲して、
 知れず。嘗て少年の空気に任せて、三十数年前に
 百二十四回を訳刊したことがありますが、流石に流石
 只、行勢の至りてあります。現在、新に改訳にあして、
 己に五六年に及びます。今、仍ち第一回、回前後で
 新鮮な地方太多、今、仍ち第一回、回前後で
 留滞して、状況であります。
 幸にして若い友人の中に、伊藤漱平氏のような
 優秀な紅樓夢研究者、翻訳者が出現して、
 優れた業績を著せしめてあります。私も彼等と共に
 けんかいよう、馬に鞭うっているのです。
 永遠紅樓夢の愛好者が、中国の學者にも

20. 《红楼梦》日文翻译家松枝茂夫
先生的来信（续一）

21. 《红楼梦》日文翻译家松枝茂夫
先生的来信（续二）

伊藤先生には己に郵便で転送してあります。
 拙訳本は近々付郵。御覧に供するつもり
 であります。
 中国文で書くべきであります。残念をかう思ふ
 ように書けませんので、日本文で書きました。どうか
 あ許して下さい。
 祝健康！
 一月十九日
 松枝茂夫

井：文部一九七六年三月、所載書文中、上元湯志、書影、
 翻行中の数点、何れも鮮明で、おは、読めません。

菊花黄人未瘦 踏踏潇湘雅
 游题咏冠羣芳 倩主為長代
 可歎許相見 淡珠儂
 壬申深秋 騎鶴再遊 瀟湘地
 一日諸瘦 西湖有感 想替卿
 而錦舊作 甘州曲 一闋以贈
 馮其庸先生 博一擊 沁卿漱

22. 《红楼梦》日文翻译家松枝茂夫
先生的来信（续三）

23. 《红楼梦》日文翻译家伊藤漱平先
生题诗

University of Wisconsin



DEPARTMENT OF ECONOMICS
SOCIAL SCIENCE BUILDING
1180 OBSERVATORY DRIVE

MADISON 53706

其庸之

来信已接到，并
与第维之同议，运送文
物事，保险及运费我们可以付，但派人护送
的旅费问题，恐怕无法筹措，国际航空协会
已宣布国际航线常低自四月一日起加10%，我们
目前的预算已经有了困难，第维之即将正式
去函文化部说明情形，没有办法时只好将文
物部份作罢。

吾兄寄南大转交的一批书刊，当时已收到，但每
次四信都集中商讨论会，就把此事忘了，很
对不起，再寄「废书商集残编」一册，编者何人？
何时出版？信中祈见示。

文经 此说

弟 趙岡 二五

The University of Wisconsin is an Equal Opportunity Employer

24. 美国赵冈先生来信

吉羊

THINKING OF YOU
AND WISHING YOU
THE VERY BEST ALWAYS

周策縱
同賀

Tse-tung Chow
Nancy Wu

揚州慢

今年暮秋子應邀出席揚州第三屆國際紅樓夢研討會
萬西園履館鄰天寧寺曹寅故地也會間動個園探漢代
廣陵王墓木猶識黃腸題湊之制放舟瘦西湖過二十四
橋復車至金陵隨國故址親觀曹雪芹塑像揭揚州禮制
又品嘗紅樓是餘南京昆曲蘇揚評彈於時西風動雲芳
草已碧盛席之餘不禁有應時之作焉
北固山危瓜州渡口維揚是處如詩應名園翠竹吊古晨黃題記
前劫飄風館地賦花零落樹刺殘枝暮雲沉蕭索微涼欺薄秋衣
盛筵對酒訪紅樓歌繞聲聲伴南園滿湖芙蓉豆蔻瘦舞腰支
驚蟹約人垂柳傷心綠波月華迷想清盈湖水年年無奈當時
周策縱一九九二年十二月六日手跡後癸亥冬

25. 美国周策纵先生词柬



26. 作者夫妇与叶嘉莹先生

寬堂先生著席

尊撰瓜飯樓重校評批紅樓夢承以收藏編號〇一三七號一部

授讀日前李經國兄專程送到新正

雅觀敬謹拜受欣樂何極展玩裝幀之美即

制之精先已眼明瀏讀校評則義理考據詞

章鍛鑄爐冶渾化無迹紅樓夢評點之學廣

繼光昌得此可卜甚感甚感請

容薰沐細讀隨時請益寒齋所藏友朋著作

之中永為鎮齋之寶矣奉常振衣升

堂面啓謝悃而老病蹇步缺禮至憾尚乞

原宥專此布達順頌

文祺

舒芜頓首拜



二月四日

花解語玉生香一回評批涉及香妃一事近見朱家潛先生故宮退食錄中曾有論辨未審曾入覽否

又及

27. 舒芜先生来信